



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42  
カトリック鹿兒島司教区  
電話099(226)5100  
振込口座 02030-2-8359  
編集発行人 末吉卓也  
1部60円年間 共1100円

04年10月10日～05年10月29日  
「聖体の年」  
【司教区昇格五十周年】  
小教区が活性化し  
教区が一つとなるように

# 司教区昇格50周年行事始まる

## 開始ミサで終身助祭候補者を認定 聖体永久礼拝リレーもカテドラルからスタート

一九五五年二月二十五日、当時の教皇ピオ十二世は鹿兒島知牧区を司教区に昇格させた。それから五十年という節目の年を迎えて、教区では小教区の活性化と教区の一体化のために様々な記念行事を計画している。二月二十七日には司教区昇格記念行事開始のミサがカテドラルでささげられ、その中で終身助祭候補者認定式が行われたほか、教区中を巡る聖体永久礼拝リレーがスタートした。

二月二十七日(日)、記念行事の開始ミサが糸永司教の司式によりカテドラルでささげられた。

司教は説教の中で、知牧区の設立を部分教会の誕生、司教区への昇格を成人に達することにたとえ、司教区には「①信仰の遺産を守り、皆に教える、②秘跡を行い、神の命を教え、信者の命を守る」使命があると話した。



終身助祭候補者に任命される

また、使徒たちとその後継者によって教会が広がること、つまり司教区という形態はイエスの望みであること。鹿兒島教区は百八十万の県民を対象にしているが、司教の使命は司祭の協力なしには遂行できない。

## 召命のために祈ろう

### 四月と十月は召命祈願月

糸永司教は、今年の四月と十月を召命祈願月間と定めた。これは、ローマが全世界で召命のために祈ることを司教団に呼びかけたことに応えるもの。具体的

には、一年間を五大大陸で分担して召命のために祈る。アジアは四月と十月に祈る。鹿兒島教区では、次のことを行う予定。①この期間に司祭召命を求める祈り

のカードを配布する、②小教区ミサにおける説教、共同祈願で召命のために祈ることを呼びかけたり、聖体拝領後に召命を求める祈りを唱える、③四月二十八日から三十日まで待者の集い開く、④十月二十九・三十日にワールド・ユースデー・ケルン大会の報告を兼ねて青年の集いを行う。

のカードを配布する、②小教区ミサにおける説教、共同祈願で召命のために祈ることを呼びかけたり、聖体拝領後に召命を求める祈りを唱える、③四月二十八日から三十日まで待者の集い開く、④十月二十九・三十日にワールド・ユースデー・ケルン大会の報告を兼ねて青年の集いを行う。

の数は九二九〇人である。昨年より三人の増加。今回は、紫原、種子島教会が実際に時間を掛けて調査を試み、実態に近い人数の把握に努めてくださったと聞いている。徐々に、各小教区が交流を求めて仲間探しに動いているようである。

全体の受洗者数(幼児、成人)は昨年と比較したとき横ばいである。転出者が若干少なくなっている。死亡者も昨年よりは減少しているが、新たに不明者を発見したり、小教区の懸念な調査活動の裏を感じている。他方、将来を背負うであろう若者(小・中・高校

生)の極端な減少が気になる。昨年は小・中学生と高校生との割合が拮抗していたのに、今回は明らかに高校生が昨年の約半分(五八八)に減少している。教会にも明らかに少子化の波が押し寄せていることが数字の上ではあるが、顕著になっていない。高校生の在籍者のそのほとんどが奄美地区に集中している。今回は三八人が奄美地区にいてという報告となっている。本土地区の高校生は二〇人という少なさである。参考までに紹介しよう。ザビエル三人、玉里五人、鴨池五人、谷山一人、大口一人、川内三人、入来二人。

居所不明者が昨年より一〇七人の減少(二〇五人)になっている。関係者の努力により新たな発見がなされたものと敬意を表した

## 教会にも少子化の波

### 04年度鹿兒島教区教勢まとめ

鹿兒島教区各小教区(八小教区を含む二十九教会)をはじめ、諸施設の責任者の協力をいただき、二〇〇四年十二月三十一日現在の教区教勢の統計がまとまった。【四面に教勢表】

このデータで分かることは、信者総数(司祭・修道者を含む)、教区で働く司祭・修道者の実数、カトリック施設とその利用者の総数、年間の信徒の移動状況、受洗者・受洗者・初聖体・結婚者・教会学校の子どもの数と教理担当者数等がある。過去のデータとの比較のなかで、いくつかの項目を紹介することにす

る。因みに、信者総数は九

その先駆けとしてお二人には頑張ってもらいたい」と期待を述べた。また、今後の教区の課題として「教会の教えを学びなおすこと、主日のミサを大切にすること、教会のサービス体制の充実を図ること」を挙げた。ミサの後には、選任された二人と司教を囲んで茶話会が催され、集まった多くの信徒が喜びを分かち合った。

聖香油ミサ  
三月二十四日(木)午前十時からカテドラルで恒例の聖香油ミサがささげられた。この日のミサでは桃蘭、久保両氏の祭壇奉仕者選任がなされたほか、新年度の司祭の人事が発表され新任地に赴く司祭に辞令が渡された。

## 人事

### おめでとう！金祝

フリチェル神父さま  
レデンプトル会のW・フリチェル神父(出水教会主任司祭)は、4月11日(月)司祭叙階五十年(金祝)を迎える。記念ミサと祝賀会は以下通り。記念ミサ/4月10日(日)午前11時から出水教会・祝賀会/午後12時30分ホテルキング

西氏朗読奉仕者へ  
三月六日(日)、鴨池教会の四旬節第四主日のミサの中で朗読奉仕者の選任式が行われ、二月二十七日に終身助祭候補者に認定された桃蘭、久保の両氏が朗読奉仕者に

選任された。二人は早速ミサの中でそれぞれ第一朗読と第二朗読を担当し、厳かに聖書を朗読した。

三月二十四日(木)午前十時からカテドラルで恒例の聖香油ミサがささげられた。この日のミサでは桃蘭、久保両氏の祭壇奉仕者選任がなされたほか、新年度の司祭の人事が発表され新任地に赴く司祭に辞令が渡された。

ミサ後には教区中を巡る聖体の永久礼拝リレーがカテドラルから始まった。

選任された。二人は早速ミサの中でそれぞれ第一朗読と第二朗読を担当し、厳かに聖書を朗読した。

ミサを司式した糸永司教は説教の中で「司教区昇格五十年を記念して、今後の司牧の充実を図るために終身助祭制度を導入する。

三月二十四日(木)午前十時からカテドラルで恒例の聖香油ミサがささげられた。この日のミサでは桃蘭、久保両氏の祭壇奉仕者選任がなされたほか、新年度の司祭の人事が発表され新任地に赴く司祭に辞令が渡された。

宣教・司牧の現況を数字で見ると、少しはマイナス面を感じるが、それよりも大きいのは、宣教のために派遣されるシスター方の減少である。二年前に二〇〇人の数を割り一九七一人。この二年で一六人の減。司祭召命もない現状では深刻である。仕事は増えるのに、担当者が減少していく今、毎年のことながら本気で「召命」を考えなくてはならない。前向きになつて前進しよう。

# 土を「耕し、守る」人間

## 聖書の人間理解 (5)

竹山 昭

「従わせ、支配せよ」

祭司伝承による創造物語は神が人間に「地を従わせよ。…生き物をすべて支配せよ」と命じたことを記している。自然破壊が焦眉の問題になった現代では、時として、聖書の宗教ことにキリスト教が自然破壊の思想的な基盤を提供したかのように非難される。その根拠がここにあるという。

人間はすべてのものの創造の後に造られている。それはすべての被造物が人間の存在のために必要であり、人間はそのすべてに世話にならざるに生きることが出来ず、その意味では弱い存在でもあることを意味する。勝手な支配は身を滅ぼすだけである。

「土の塵から」

第二の、ヤヴエ伝承による創造物語は、いっそう明確に人間と大地の関係を述べる。「主なる神は土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」(一・20と29) という言葉は、確かに、人間に他の生き物に対する治める使命を与えるものである。だが、使命はつねに責任を伴う。「支配する」というヘブライ語「ラダー」は他の箇所では民に対する王の統治に用いられる(列王上五・4)。ヴェスタマンや大島氏によれば、古代人の理解では、それは搾取を意味するものではない。王は、彼が治める民の繁栄に責任を負わねばならない。ここでの他の生き物に対する人間支配もそのように「正しい」支配、ないし「管理」を意味するものと考えられよう。少なくとも、ここから人間による好き勝手の自然支配の根拠を汲むのは行き過ぎである。

### 世界召命祈願日教皇メッセージ —二〇〇五年四月十七日—

要旨

「沖に漕ぎ出すように呼ばれています」

一・来る世界召命祈願日は、キリストに従う召命、とくに司祭職・奉獻生活の中でキリストに従う召命について考えるための特別な機会です。

二・「沖に漕ぎ出しなさい」。他者との関わりをもちたくないという精神が蔓延している現代において、困難な状況に直面したとき、キリストが命じていることはとくに大きな意味をもっています。「沖に漕ぎ出す」ための最初の条件は、祈りの心を深めることです。それはみこころを毎日聞くことによつて養われます。絶え間ない努力がむだであると思われるとき、祈りを通してキリストとつながることによつて、わたしたちは明らかな失敗のただ中にあつても、キリスト

れたことによる。「耕す」と訳された言葉は「仕える」と言う意味もあるのです、ここを「仕える」と訳する聖書もある(月本昭男訳「創世記」、岩波書店)。

「耕し、守るために」  
いっそう示唆に富むのは「主なる神は人を連れてきて、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようになされた」(二・16) と言う記述である。人は遊び暮らすために楽園に置かれたわけではない。土を「耕し、守るために」置か

「耕す」と訳された言葉は「仕える」と言う意味もあるのです、ここを「仕える」と訳する聖書もある(月本昭男訳「創世記」、岩波書店)。

神は人間に「地の支配」を委ねられたということもそうだが、聖書は、決して人間が好き勝手に大地を、総じて自然を自分の能力のままに利用することを勧めてもいないし、認めてもいない。むしろ「耕し、守る」ように神から託されたものとみなしている。

聖書によれば人間の創造は人間だけが切り離されて創造されるのではない。ヴェスタマンが言うように、人間創造にはその「生活空間」(エデンの園)、「食料」(園の果実)、「労働」

るかを、ますます認識するようになりまし。

親愛なる若者たち、キリストに信頼してください。キリストのみ顔から目を離さず、キリストのことはをたえず聴いてください。

五・また、親愛なるご両親とキリスト教の教育者、そして司祭、奉獻生活者、カテキスタのかたがために申し上げます。神は、若者を聖性の道へ導くという特別の使命を皆さんに与えました。若者たちに、キリストに対する惜しみない忠告の模範を示してください。自分の歩むべき道を識別できるように、また、キリストの真の友また真の弟子になれるように、若者たちを助けてください。聖なる司祭や、神への奉仕に完全に奉獻された人々が、今日も必要とされていることを忘れないでください。「広い範囲で、しかも隅々にまで行き渡るような召命司牧に着手することが、緊

急に必要です。その活動は、個人的な触れ合いに基づき、あらゆる小教区、教育施設、家庭にまで及んでいかなければなりません。ここでは、人生の本質的価値についての注意深い考察が求められることとなります。こうした価値は、一人ひとりによる神の呼びかけへのこたえ、とくに、神の国のために自分自身と自分のエネルギーのすべてをささげるようにと促されたときのことたえの中に、決定的な要約を見いだします」(「新千年期の初めに」四六)。

六・マリアの母としての取り次ぎに支えられながら、地のあらゆるところから、「収穫のために働き手」(マタイ九・38)を送ってくださいという熱心な祈りが、天の父にささげられますように。父が、熱心で聖なる司祭を神の民すべてに与えてくださいますように。

### 4月

召命のために祈りましょう

#### 「十字架の使徒会祈りの意向」

小教区の活性化

- 2日(土) 中野裕明神父叙階記念日(一九七八年)
- 3日(日) 復活節第二主日(神のいつくしみの主日)
- ▼聖体永久礼拝(吉野)
- 4日(月) 神のお告げ
- 5日(火) 奮美例会
- 10日(日) 復活節第三主日
- ▼レジオマリエのアチエス
- ▼聖体永久礼拝(玉里)
- 11日(月) フリヂェル神父叙階記念日
- 17日(日) 復活節第四主日 召命祈願日

#### 「召命祈願日」

神は、すべての人が誠実に自分の生涯を過ごすように招いています。ある人は社会の中で会社員、医師、看護師、教員、工場働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そして、ある人は神とともに仕える司祭、修道者となるように招かれています。神の招きはどのように人それぞれ異なりますが、自分に対する神の望みを祈りつつ探していくことが大切です。近年、司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「召命祈願日」には、司祭、修道者への招き(召命)にひとりでも多くの人がこたえることができるように祈りましょう。この日は、教皇パウロ六世によつて一九六四年に制定されました。

- ▼聖体永久礼拝(加世田)
- ▼マリア山荘祝別(一九九三年)
- 18日(月) 松森孝郎神父叙階記念日(一九七一年)
- 19日(火) 司祭評議会
- 22日(金) 加世田教会献堂記念日(一九五六年)
- 24日(日) 復活節第五主日
- ▼聖体永久礼拝(紫原)
- ▼聖マルコ福音記者
- 25日(月) 聖マルコ福音記者
- ▼マイエル神父命日(一九七八年)
- 28日(木) ハンマ神父叙階記念日(一九六三年)
- ▼アッシュヤー神父叙階記念日(一九六四年)
- ▼侍者の集い・30日まで・研修の家
- 29日(金) 橋口啓悟神父叙階記念日(一九九六年)

# 宗派を超えて祈りをささげる

## 世界祈禱日(三月四日)

世界祈禱日の三月四日(金)、ザビエル教会(主任司祭永山幸弘神父)にカトリック、プロテスタントの十九の教会から約九十人の女性信者が集まり、今年の世界祈禱日の主題「光を輝かせよう」から「ポーランドからのメッセージ」に心を合わせ祈りをささげた。



90人が集まったエキキュメンカルな集い

世界祈禱日は全世界のキリスト者が、毎年定められた主題にそって共に祈り、苦しみに喜びを分かち合い、信仰に立って交わりを深め、神を賛美し、愛をもつて行動しようというもので、毎年三月の第一金曜日に世界百七十の国及び地域で実施されている。日本では一九三二年から行われるようになり、四九年からNCC(日本キリスト教協議会)女性委員会が原案をもとに日本語式文を作成し、配布している。

## 墓地整備終わる 新たに手摺も設置

カトリック唐湊墓地では、崩壊に伴う入口付近の整備と駐車場の舗装工事を三月上旬終了した。崩壊箇所整備は、崩壊付近の土地境界の明確化が困難だったため長期にわたって懸案とされていたが、昨年二月末から市や県等関係機関と協議し、参拝者の要望に行政側が対応する形でこの度の整備実現となった。また水たまりができるなど駐車場の苦情のあった駐車スペースも舗装工事を終えた。駐車スペースにはこれまでカトリック墓地墓参とは無関係の車両の乗り入れ等で、墓参者が駐車できないという苦情も寄せられていたが、これに対応するため新たに入口に車止めを付けた。車止めは簡易式で簡単に取り外せるようになっていたため、駐車の際には利用者が自分で開閉して使用することができた。

また新たに墓地中央階段に手摺を設け、高齢者が安全に墓参できるようにした。

### 訃報

▼マリア・インマクラータ 松下敏子修道士(聖血礼拝修道女会聖ヨゼフ修道院・七十五歳)は、二月十五日(火)二十時ごろ癌のため入院先の南九州病院で帰天した。シスターの葬儀ミサは三月五日(土)十時五十分帰天した。四十四歳だった。

サ・告別式は同修道院聖堂で、二月十七日(木)竹山神父と八人の教区司祭の共同司式でしめやかに執り行われた。

▼宇都祥子さん(寝占敦之神父令妹)が、三月五日(土)十時五十分帰天した。四十四歳だった。

## 婚姻の秘跡を深める集い

期日:5月27日(金)19時30分~  
5月29日(日)18時  
場所:マリア山荘 対象:すべての夫婦  
※一人での参加は不可  
※どちらかが未信者でも可  
申込切:5月20日(金)  
連絡先  
長山登志男さん(宮崎教会) 自宅 0985-73-0874  
携帯 090-7292-6021  
郡山健次郎神父(志布志教会) 電話 0994-72-0720  
携帯 090-8832-5160

## 郡山神父と行くルルド・ローマ・アシジ9日間

日程:8月22日(月)~30日(火) 同行:郡山健次郎神父(志布志教会)  
巡礼地:ルルド・ローマ・アシジ  
※料金・日程詳細・申込方法については下記までお問い合わせ下さい。  
(株)グローバルユースビューロー鹿兒島支店

## 聖体永久礼拝



### 地域と出会う

吉野教会

### 聖体永久礼拝

4月3日(日)10時

吉野教会の主任司祭は橋口啓悟神父。同教会は一九七一年八月にザビエル教会の巡回教会として設置され、翌七二年から故・七田和二郎神父が常駐するようになった。現教会は設置当時の教会を「教会らしい建物にしたい」という信者たちの熱意で、一九八二年に改修されたもの。

聖堂に足を踏み入れるとステンドグラス調の磨りガラスを



通して差し込む光で、祈りの雰囲気

### のびのび生き生き

玉里教会

### 聖体永久礼拝

4月10日(日)ミサ後

交通量の多い国道三号線でも最も混雑する草牟田に位置する玉里教会は、一九七〇年仮聖堂を兼ねる司祭館が完成して、玉里布教所としてスタートした。現主任のサンタマリア神父(聖ザベリオ宣教会)は二〇〇一年四月から担当し、十代目の主任司祭である。教会の特徴と思えるのは、何と言っても活動的な所属信徒とそののびやかさ。これまで歴任してきた



個性豊かな主任司祭たちから学び取ったのか、教会に大らかさと強さを感じさせる。その活動の様子は広報委員会が担当する「小教区報」からもうかがい知れる。家庭的な教会らしく情報がもたより入院した仲間のこと、巡礼記、留学記...と親しみの持てるものが盛りだくさんである。あ、ローマ典礼総則を学ぶ「ミサの勉強会始まる」の記事もあった。

また建物も足を運ぶ度に何かしらオシャレになっている。主任司祭の手作り

のアイテムが敷地

一九三二年のペトロ神父(フランシスコ会)訪問が記録に残る加世田での布教が本格化したのは、レデンプション会が担当するようになってから(一九五三年)。そして広大な南薩地区の信徒たちのために、一九五六年、まず加世田教会(四月二十一日)、そして枕崎教会(八月十五日)がその巡回教会として献堂された。両教会とも来年、五十年周年記念を迎え、現在、その記念行事に向けて実行委員会が組織されている。

### 要理学習開始

加世田教会

4月17日(日)ミサ後



現在、加世田教会が力を入れているのは信徒の要理教育。昨年九月から毎月第一と第二木曜日にそれぞれ二回の「カトリック教会の教え」の学習会を始めた。主任司祭小川靖忠神父によると「出席者はまだ少ない」。でもそれを補う工夫がある。それは主日のミサの終りに、毎回、学習会で学んだ箇所を朗読するのだ。そのためか、

少しづつ社会問題に対する教会のあり方を問う動きが始まっている。

### 執筆中の主任司祭

紫原教会

### 聖体永久礼拝

4月24日(日)ミサ後

一九七一年七月に鴨池教会から果敢に形を始めた。紫原教会は使徒ヨハネを保護の聖人とする。教会には大工だったヨゼフに因んで、教会の仕事を手伝う「ヨゼフ会」、高齢者中心の「ロザリオ会」、そしてロザリオ会とともに様々な意向に心を向ける「祈りの会」がある。



現主任司祭は「共同訳聖書」や「聖書思想事典」の翻訳を手がけた小平卓保神父。司祭館に入ると簡素で整然と整った聖堂とは違って、所狭しと本やビデオテープ等が積み上げられている。そしてそんな資料集の中から主任司祭が「よお」と顔を出す。一時体調不良が伝えられたが、信徒の手助けもあって元気そう。もともと近く出す本(これまでにカトリック新聞や南日本新聞、声誌に掲載したものをまとめたもの)「信仰の源泉」(燦葉出版)の序文の執筆中だったからこそのだろう。さすがは研究の虫、そしてしっかりと「みんなに読んでほしい」とアピールした。

鹿兒島教区教勢

2004年12月31日現在

Table with columns for Diocese, Clergy, Baptisms, Transfers, Deaths, and Seekers. It lists various parishes like Zavier, Yama, and others with their respective statistics.

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

俳句 poems by members of the Shikawa Haikai Club, including 'Yakubai no kami no sukoyaka ni kakimaru' by Rika.

短歌 (思川短歌会作品)

Short poems by members of the Shikawa Tanka Club, including 'Kagayaku no umi ni wa' by Masahito.

鹿兒島 龍門司真人

短歌 (思川短歌会作品)

Short poems by Masahito, including 'Rozario ni tsuki mo umi ni' and 'Haru no ni misa no madate ni'.

WYDへの 教区参加者決まる

News report about the decision on WYD participants for the Kagoshima Diocese, mentioning the August meeting.

召命祈願月間「侍者の集い」

Announcement for the '侍者の集い' (Gathering of Servants) month-long prayer mission, including dates and contact info.

教皇聴罪司祭による黙想会

Announcement for a silent prayer service led by a papal confessor, with themes and dates.

ザビエルさまの散歩道 ハッピーバースデー ザビエル様!

Article celebrating St. Xavier's birth anniversary, mentioning his journey and the 'Happy Birthday' theme.

Additional text for the St. Xavier article, mentioning the 'Happy Birthday' theme and the author's wishes.

News report about the WYD participants, mentioning the meeting and the list of names.

Additional news report about the WYD participants, mentioning the meeting and the list of names.



Advertisement for 'Catholic News' (カトリック新聞), including subscription rates and contact information.

Advertisement for 'Catholic News' (カトリック新聞), including subscription rates and contact information.

Contact information for Catholic News: 〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社